

1. 単元名：屋上菜園で 手作り野菜の店！

2. 単元概要

当初、学級菜園で野菜を栽培していたが、子どもたちが野菜の生長に大変興味を持ち、それを使っての調理(とそのレシピ作り)、さらには、先生方への販売と活動が広がった。その年度内に、学校のフェンス周りや校内で可能な場所は、全て畑として子どもたちと開墾して栽培規模を拡大し、正に、学級の核となる活動になった。次年度の新入生歓迎会ももちろん野菜サラダパーティー！子どもたちから「もっと野菜を育てたい！」と声が上がり、「屋上菜園計画」がスタートした。屋上専用シート、土・肥料・水・道具の運搬…水タンク作り、様々な活動が求められることになり、子どもたちは連日、汗をかきながら取り組む単元になった。並行してグラウンドの畑の管理、販売、屋上菜園計画の節々でねぎらいも兼ねて調理・パーティー等も展開した。

※後日談－本活動を耳にしたPTA役員の発案で、教育委員会の許可も得て、次年度は本格的な「屋上ヒートアイランド対策」をすることになった。資金はPTAから拠出、専門業者とコラボして設計、水回り等の工事は業者、それ以外の部分は特別支援学級が請け負い、「菜園」だけでなく「屋上ビオトープ」づくりへと発展した！

3. 単元目標

- ①栽培・管理・収穫・販売・調理等及び菜園作りの手順を理解して取り組む。(知・技)
- ②菜園作りの計画を見通して、野菜の成長や販売、調理で必要なことも考えながら取り組む。(思・判・表)
- ③菜園の完成や美味しい野菜の収穫・販売・調理を楽しみに意欲的に取り組む。(学)

4. 単元の日程計画

午前(10時～11時30分)	午後(13時30分～14時15分)
<p>①畑の管理等を並行しつつ、屋上菜園づくりに必要な諸活動を友達・教師とで分担して、一丸となって活動に取り組む。</p> <p>②土の運搬は交流学級の友達の協力も得て、運び上げる。</p>	<p>子どもの様子に応じて、栽培日誌、成長のために必要なこと(害虫よけ等含む)の調べ学習、調理用レシピづくり等に取り組む。</p>

5. ポイント解説

- ①本単元のポイントの一つは当時の担任が家庭菜園が好きであったこと。教師の得意・不得意で教育活動を左右することは許されることではないが「生活を共にする生活単元学習」では子どもの得意とともに、教師の得意を發揮する発想も大切にしたい。
- ②畑の管理、野菜の栽培、販売、調理等が学級生活の核になり、「屋上菜園」づくり、PTA・業者との交流…各教科等の力が総合的に活用・習得される好事例である。
- ③算数が得意な子どもはタブレットで「会計管理」、調理が得意な子ども、力持ちな子ども、青虫・チョウ・ヨウ・害虫…生き物等に詳しい子ども……様々な得意が發揮される単元になった。
- ④次年度、通常の学級もヒートアイランドについて総合的な学習の時間に学ぶことになった。
- ⑤屋上の有効活用－安全対策が万全であれば、「菜園」に限らず「屋上遊園地」等の活動も可能！